



発行所 香川県小豆農業改良普及センター 〒761-4301 小豆郡小豆島町池田2519-2 TEL:0879-75-0145 FAX:0879-75-2477
URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/shozu/nogyo/> E-mail shozunokai@pref.kagawa.lg.jp

シリーズ

小豆島の
多様な担い手

食を通じたふれあい絆活動

～ 小豆郡生活研究グループ ～



小豆郡内で地域の担い手リーダーとして活動している女性18名で構成された小豆郡生活研究グループ(会長:三木良栄氏)は、オリーブなどの島特有の農産物を使った新しい島の味の開発や、郷土料理の伝承活動を促進することを目的に、活動を続けています。

特に、平成20年度からは毎年、小豆島内の幼稚園や老人会を対象とした食育活動を続けています。この取組みは、地域の風土と生活の知恵によって、長い年月をかけて生み出された郷土料理や、小豆島の特産品などを伝承し、地産地消の大切さを実感してもらおうとともに、地元の人に多く消費してもらえるように働きかけることを目的としています。

今年度は、コロナ禍により老人会への食育活動のみとなりましたが、本グループが製造販売しているオリーブの新漬けを活用したひしお丼とポテトサラダ、グループに加入しているメンバーが起業活動で加工販売しているハモ天や味噌などを使い、地元の食材を素材に知恵と工夫が加わった商品を活用した生活研究グループならではのメニューとなりました。

また、小豆島の農産物を使った料理や小豆島の郷土料理を紹介した冊子「郷土の食文化を通してつなぐ絆活動」を作成し、食育活動と合わせて配布し、地産地消や食文化の伝承を呼びかけています。

活動に興味がある方は声をかけてください。是非、一緒に活動しましょう♪

【問合せ先:小豆郡生活研究グループ事務局:香川県小豆農業改良普及センター 0879-75-0145】

ステップアップいちご塾を開催 ～毎一会と新規就農者（JA香川県小豆島いちご部会）～

JA香川県小豆島いちご部会では、全戸で香川型高設養液栽培システムを導入し、‘女峰’を26戸で3.9ha栽培しています。同システムには環境制御装置（通称：らくちんコントローラー）が採用されていますが、近年、スマート農業に対応した新型らくちんコントローラーが登場しました。

新型らくちんコントローラーは、「さぬきファーマーズステーション（SFS）」というシステムを導入し、従来のコントローラーで制御していた環境データ（温度、炭酸ガス、日射量、給液回数など）をいつでもパソコンやスマートフォン、タブレットから確認でき、また遠隔制御によるリモートコントロールを実現したものです。同部会では3戸・5台が導入されており、このシステムを活用すると、クラウドに蓄積された自分の過去のデータとの比較だけでなく、他の生産者や指導機関等と情報共有することで、課題や改善方法を共有し、経営改善や産地の生産性改善が期待されます。

今回、同部会の若手生産者集団「毎一会（いちごいちえ）」と新規就農者を対象に、SFSを活用した生産技術の高位平準化や環境制御技術などの知識習得を目的とした勉強会「ステップアップいちご塾」を開催したので紹介します。

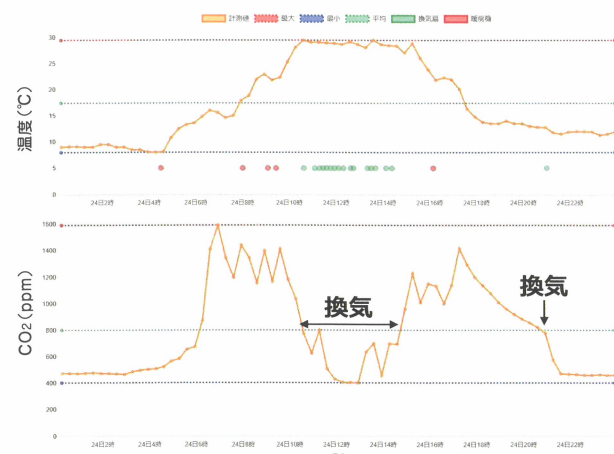
●ステップアップいちご塾の概要

イチゴ栽培は、育苗から収穫終了まで長期間に及ぶため、季節ごとの環境に適した管理とともに、栄養生長と生殖生長のバランスを考慮した技術力が求められます。栽培はマニュアル化されているものの、マニュアルどおりの管理で最適な環境が確保できているかは個人差が大きく、環境データの活用が重要となります。

そこで、生産技術の高位平準化や環境制御技術などの知識習得の支援をとおして、高収益で安定したイチゴ経営を実現するために勉強会を開催することとなりました。勉強会では「ほ場視察」、「座学講座」、「グループワーク」を行い、ベテラン農家・新規就農者が一緒に意見交換・情報共有をすることで、栽培環境の重要性の再認識を進めるとともに、生産技術の高位平準化を支援しました。

●座学講座

第1回は農業革新支援センターから専門指導員を招き、「環境データの紹介」という題目で、ICTの活用と今までにSFSで測定・蓄積したデータを基に、炭酸ガス・温度と光合成の関係性や実態について説明がありました。第2回、第3回は普及センター担当者からそれぞれ「厳寒期の温度管理」、「養液管理」について講座を実施しました。基礎的な話に加え、香川県農業試験場で得られた知見の紹介や、出席していたSFS導入生産者のリアルタイムな測定データを提示する等の取組みをした結果、複数の質問や疑問が挙がり、新たな課題発見に繋がりました。

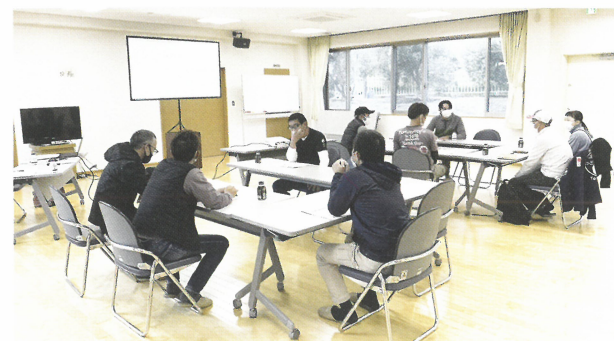


管内のSFS測定データの紹介
(ハウス内温度と炭酸ガス濃度)

●グループワーク

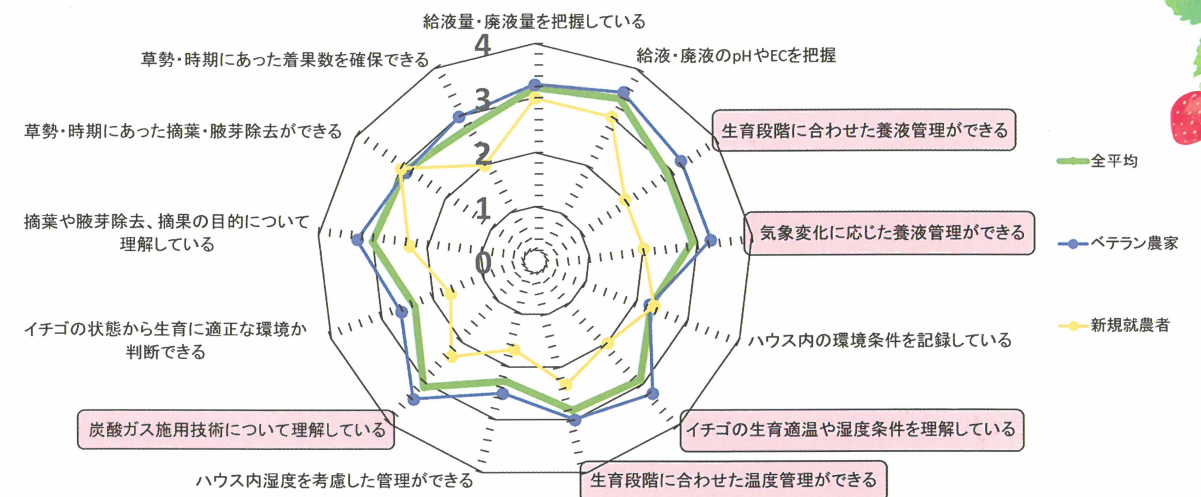
今回のステップアップいちご塾では、座学講座後、1班4～5人に分かれ、各班で司会進行役を決めて、討論・発表を行いました。

テーマの選定内容に参加者は戸惑いもはありましたが、グループワークをとおして、他の参加者の工夫や栽培管理状況等の情報共有が進みました。



グループワークの様子

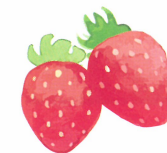
●今後に向けて



ステップアップいちご塾開催時点の自己評価結果（1：できていない～4：十分にできている）

上記グラフは第1回ステップアップいちご塾で実施した自己評価アンケートの結果です。1：できていない、4：十分にできている、となっており、3以上が望ましいと考えられます。

赤色の項目について、ベテラン農家と新規就農者とで評価に大きな差があることがわかります。この項目は生産性向上に重要であり、参加者全体の自己評価向上を狙って、今回のステップアップいちご塾で取り上げました。他の項目についても、話題として取り上げるとともに、次年度以降は、参加者からの要望・提案も反映した勉強会を開催する予定です。



また、SFSで「見える化」された環境データは、リアルタイムで確認できることや、導入者同士の情報共有により、イチゴ栽培の環境をより良くするための指標として活用できますが、蓄積されたデータの活用方法が課題です。今後、SFS導入生産者の栽培・生産データと蓄積された環境データを分析し、生産性向上に向けた指標化に向けて取り組んでいきます。

普及センターでは、今後も勉強会を開催するとともに、得られた知識や生産者同士の情報共有を推進し、生産者同士が自発的に切磋琢磨できる環境づくりを推進し、関係機関と連携してイチゴの産地活性化、生産性向上を支援していきます。

第58回香川県花き品評会

令和4年2月18日にサンメッセ香川で「第58回香川県花き品評会」が開催され、生産物の展示・審査が行われました。管内からは、生産物の部で26点、立毛の部で5点の出品があり、右記の3点が受賞されました。たくさんの出品ありがとうございました。



中村 敏満 様
ランタンキュラス「桜てまり」



八木 清文 様
ランタンキュラス「小春てまり」



株小豆島凛菊 様
キク「精興光玉」

受賞区分	品目	品種等	受賞者氏名	住所
香川県農業協同組合代表理事理事長賞	ランタンキュラス	桜てまり	中村 敏満	土庄町
KSB瀬戸内海放送社長賞	ランタンキュラス	小春てまり	八木 清文	小豆島町
西日本放送賞	キク	精興光玉	株小豆島凛菊	小豆島町

今回は、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ観点から、恒例のフラワーフェスティバルとしての一般公開は中止されましたが、品評会の様子はYouTubeで公開されます。香川県産の切り花や鉢花、同時に開催されたフラワーアレンジ等のコンクールの様子も右記のYouTubeチャンネルで配信されますので、ぜひ御覧ください。



フラワーフェスティバル
かがわ2022

令和3年産小豆地域「コシヒカリ」食味コンクール

良質米の安定生産と作付け拡大を目的に、今年度初めて「コシヒカリ」の食味コンクールを実施し、令和3年12月9日に表彰式を行いました。

普及協議会長より最優秀賞1名、普及センター所長より優秀賞2名にそれぞれ表彰状と副賞が授与されました。受賞者の皆様は「すずやかな稲づくり」と適正な水管理や病虫害防除、また適期収穫など基本技術の励行が行われており、これらの取り組みが良食味米生産につながりました。

受賞区分	受賞者氏名	住所
香川県小豆農業改良普及協議会長賞	出水 利明	土庄町
香川県小豆農業改良普及センター所長賞	清水 利隆	土庄町
	橋本 英輔	小豆島町



習慣にしましょう！ 農作業安全

「ヒヤリ」とした、「ハット」した時は、「今回はたまたま事故につながらなかっただけ」であり、重大な事故につながった可能性があったと考えられます。

次の作業からは「ヒヤリ」、「ハット」がないようにその原因や要因を取り除き、事故を起こさない農作業の取り組み、また、シートベルトやヘルメットの着用など、農作業安全を習慣にしましょう。



～ 熱中症対策も忘れずに こまめな水分補給と十分な休憩を！ ～